

\*\*\*\*\*  
開講科目名：租税法研究演習 1 年（奥川先生）（4単位）  
開設年次：1年  
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻  
担当者：奥川 哲也  
\*\*\*\*\*

#### 《授業の概要》

##### 【ゼミの概要】

租税法研究（演習）の講義は、税理士試験の免除資格（税理士法に定める「税法に属する科目等」に関する研究で国税審議会から認定を受ける）を得るにふさわしい租税法（国際租税法を含む）の基礎の習得から修士論文の作成までにわたり、判例研究、各種論文研究及びこれらの発表・討議並びに研究テーマの選定及び研究発表・討議を行う。

##### 【ゼミの内容】

2年間を通じて、まずは租税法解釈の基礎固めと数度の小論文の作成をスタートとし、その後のゼミの場での発表・討議を通じてその理解を深め、最終的に修士論文の完成をゴールとする。

##### 1. 1 年生

###### 前期

4 月中は関岡教授による他ゼミとの合同ゼミとし、論文作成に当たっての基礎事項を学ぶとともに各自テキスト及び論文の書き方に関する参考書を通読しておく。

5 月以降は、テキストを基に租税法の解釈の基礎及び小問題に対する小論文の作成とディスカッションを中心にゼミを行う。

###### 後期

後期は前期よりもう少しレベルアップし、引き続き小論文の作成を行うこととするが、自身がテーマを選んだうえで作成し、深度ある議論ができるような内容とする。

1 1 月ないし 1 2 月から期末にかけては修士論文のテーマ選定を固め、早めに関連する資料の収集及びその読込みを行う。

##### 2. 2 年生

2 年生においては選定したテーマに関する更なる資料収集、研究、発表及び議論を行いながら、論文完成までを行う。

##### 【評価方法】

出席とレポート（必要に応じて）及び修士論文により総合的に評価を行なう

#### 《テキスト》

酒井克彦『レクチャー租税法解釈入門』弘文堂（2015年）

#### 《参考書》

##### 【論文の書き方等に関する参考書】

井田良他2名『法を学ぶ人のための文章作法』有斐閣（2016年）

木山泰嗣『LIVE講義法律文書作成のためのリサーチ術』Lexis Nexis（2015年）

近江幸治『学術論文の作法』成文堂（2016年）

##### 【租税法の参考書】

岡村忠生他2名『ベーシック租税法（第7版）』有斐閣（2013年）

金子宏『租税法（第21版）』弘文堂（2016年）

水野忠恒他4名『租税判例百選（第5版）』有斐閣（2011年）

酒井克彦『フォローアップ租税法』財経詳報社（2010年）

酒井克彦『ステップアップ租税法』財経詳報社（2010年）

金子宏他3名『ケースブック租税法（第4版）』弘文堂（2013年）

その他必要に応じて指示する

